Delivery

デリバリーとは

・ジェスチャー ・ポーズ ・抑揚 ・声の変え方 ・フェイシャルエクスプレッション ・アイコン タクト ・発音アクセント ・イントネーション など いろんな観点からみていく必要があります。

~Gesture~

ジェスチャーの基本は、 具体的すぎるものはやらないこと。 Audience を意識して 前に手を出してみたり、 自分の経験では、胸に手を当ててみたり、 右から左へ動かしてみたり パワーサムなどのような 伝わるジェスチャーの仕方など たくさん勉強してみよう。

<mark>~</mark>抑揚<mark>~</mark>

押揚のあるスピーチはきれいに聞こえる。 感情のこもっているとこ Thesis などの重要な場所 ではペースを変えよう! 逆にデータはさらっと流そう! また英語では動詞にストレスをおこう! 副詞や副詞節はあまり強調しないようにしよう。

~Make a pause~

大事なところはタメまくろう ポーズは Audience に考えてもらうために スピーチにリズムを与えるために大切なこと。 パラグラフの間などは最低 2 秒は空けよう Q の後は必ずポーズを入れて Audience をス ピーチに巻き込もう!

∼コンクルの締め方

コンクルで大事なのはここで終わるんだな! と示してあげること コンクルの最後の1文は ゆっくりいおう! 特に最後の word は十分にためて終わらせよう 聞き手に長い余韻を残してあげる。

ESS 英語 スピーチ スピセクの部屋